

# 整備機器

## 新商品

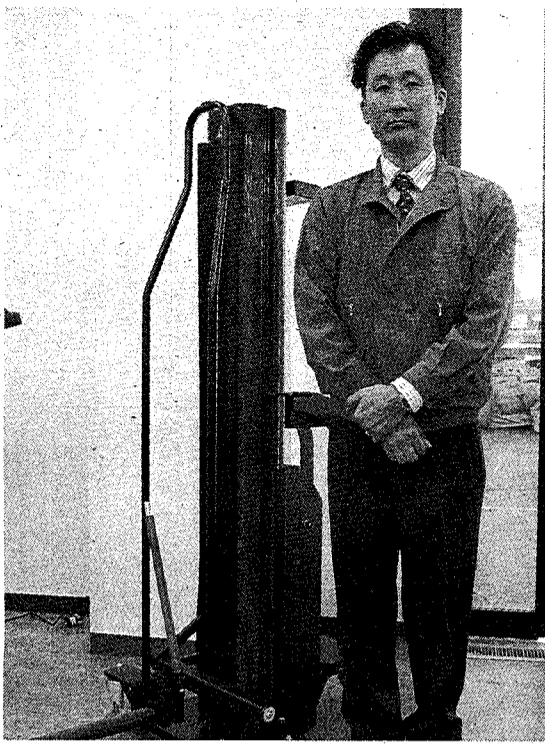
### 東洋精器工業(株)

#### 乗用車用タイヤリフター 「パートナー70」

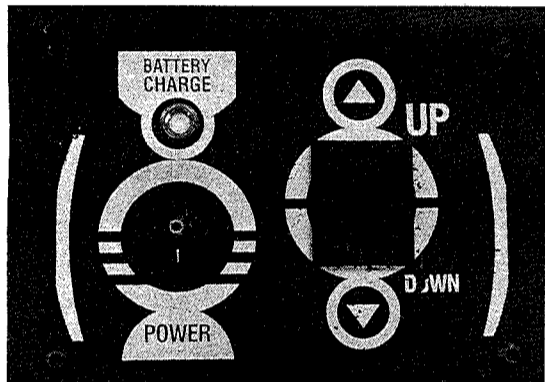
# 埋込みリフトでも楽に、安全に

タイヤ整備作業現場での省力化・軽労化に取り組み東洋精器工業株式会社(兵庫県宝塚市、阿瀬正造社長)。このほど、タイヤ交換作業時に使用するタイヤリフター「Partner(パートナー)70」を開発した。この春から本格販売を開始する。(横野 正義)

販売企画部製品・技 せん。そのよきなシ 術部門課長代理の森本 祐二さんは「タイヤ交 換作業時に、ビット作 業場の自動車整備用リ フトでクルマをリフト アップします。通常の 場合、ホイール付きの タイヤを抱え込んで地 面に下ろしたり、抱え 上げてなければならま



森本祐二さんと「パートナー70」



コントローラーユニット部。シン プルに徹し、機能本位のデザイ ンを採用した。充電バッテリー の消費度合いもひと目で確認 することが可能だ

ホイールのボルト穴 に対するローラーの上 下位置合わせ(昇降) は本体手元のコント

ルギーグレーを採用し た。乗用車用タイヤチェ ンジャー「PIT A THLETEE II」(ビットアスリート ツー)や乗用車用ホ イールバランス「T RIM BPI 67A」などはマッドフラック。濃いめのカラーで揃え ることで、ビット全体 のイメージアップを図 る狙いもあるという。 また「Partner 70」のリフト能力 は、その名が示す通り 70kg。軽自動車用から 一般的な小型乗用車、 SUVクラスのホイ ール付きタイヤの使用を 想定している。

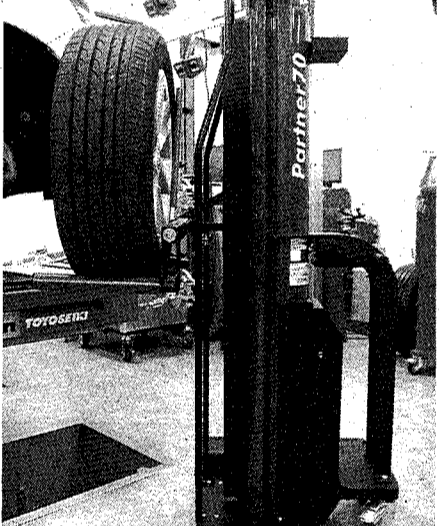
新製品「Partn er 70」で特徴的な のがそのフォルム。機 器本体から前方にタイ

「重量のあるタイヤ を抱えたり支えたりし ながら、タイヤの交換 作業を続けるのは男性 でも大変です。しかも 1本ではなくクルマ1 器本体から前方にタイ

1度その穴にリフ ターやタイヤを落とし てしまうと、元の状態 に戻すのは非常に大変 であるし車両ボディと の接触で車両に重大な 損害を生じ得ることは 想像に難くない。 だが「Partner 70」はキヤスタ ー車輪が前方では

台4本、さらにはそれ が2台、3台と続くの です。かなりの重 労働となります。Pa rtn er 70」はそ のようなタイヤ交換 業時の省力化・軽労化 に大きく貢献する専用 リフターです。森本さ んは新製品を操作しな がらこのように説明す る。

移動させキヤスタ ー車輪を落とすという ケースが多々ある ことだ。 一般的にタイヤリフ ターの場合、キヤス ター車輪を機器本体の 前方に配置している。 そのため、埋込み式 の整備用リフトでの使 用には不向きで、タイ ヤリフターの侵入部に は事前に渡し板等を敷 ければ、そのままは



独自のバンパーガードを採用。埋込みリフトでのキヤスター脱落を阻止する

タイヤの持ち上げと移動に特化。軽労化・省力化に寄与